

## 安全に登山を楽しむ 西丹沢ビジターセンター

登山者への案内を行っているのと登山届を提出せずに登山される方を見かけることがあります。一部山域を除き、登山届の提出は義務ではありませんが、提出は遭難した際の早期発見・救助につながります。また、自身で登山届を作成することで、計画に無理がないか、自分の力量に合っているかなどを再確認できます。

最近では登山アプリを使ってオンラインで登山届を提出する方が増えていますが、西丹沢ではオンライン提出後も登山口近くの登山ポストに届けることをおすすめします。山岳救助隊によると、救助要請時には、まず登山ポストで届出の有無を確認するからです。また、登山計画書は家族にも渡しておくことが大切です。登山者が予定時刻を過ぎても下山しなかった場合、家族からの通報が捜索のきっかけとなります。

12月に開催した山岳事故検証講座でも、山岳救助隊より登山届の重要性についてお話がありました。登山届の提出は、安全に登山を楽しむための最低限のマナーです。西丹沢ビジターセンターにも登山ポストと登山届用紙が設置されています。登山前にはぜひ提出し、安全な登山を心がけてください。

(執筆:須藤)



山岳事故検証講座の様子

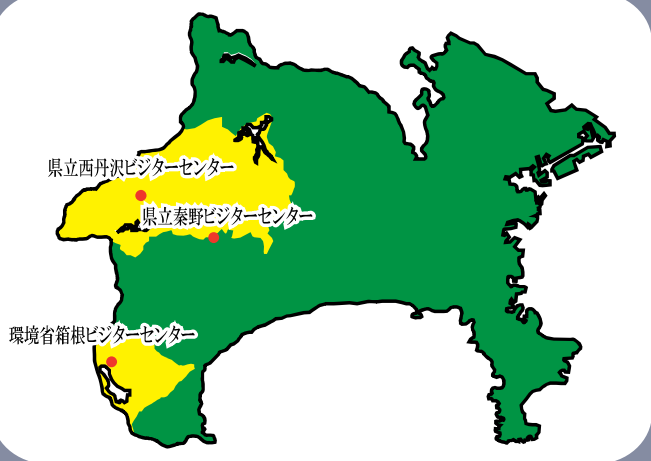


西丹沢ビジターセンターに設置されている登山ポスト



登山情報も掲示しています

## 自然公園へでかけよう



## 公式SNSは二次元コードから！

### 県立秦野ビジターセンター

Hadano Visitor Center  
〒259-1304 秦野市堀山下1513  
Tel 0463-87-9300

<https://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>



### 県立西丹沢ビジターセンター

(旧西丹沢自然教室)  
Nishi-Tanzawa Visitor Center  
〒258-0201 足柄上郡山北町中川867  
Tel 0465-78-3940

<https://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

### 環境省箱根ビジターセンター

Hakone Visitor Center  
〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根164  
Tel 0460-84-9981

<https://hakonevc.sunnyday.jp/>



## 冬の宮ヶ瀬湖 秦野ビジターセンター

宮ヶ瀬湖は丹沢大山国定公園の北東部に位置し、2000年に完成した宮ヶ瀬ダムで中津川をせき止めて作られたダム湖です。

周辺はドライブやサイクリング、自然観察に人気のスポットで、湖畔からは丹沢山、蛭ヶ岳、大山などの美しい山々が望め、冬には雪化粧した丹沢の山並みを楽しむことができます。湖畔の仏果山(747m)と高取山(705m)は、冬でも登山に人気の場所です。両山の間では尾根歩きが楽しめ、それぞれの山頂の展望台からは宮ヶ瀬湖と丹沢の山並みを一望できます。また1月～2月にかけて、気象条件が整えば「シモバシラの氷の華」が見られます。



比較的初心者でも挑戦しやすい山ですが、急な坂道や階段があり、冬は凍結するため、滑り止めなど登山装備を整えて出かけてください。登山届の提出もお忘れなく！

また、冬の宮ヶ瀬湖は、水鳥の飛来地としても知られ、オシドリやマガモ、カンムリカイツブリなどの野鳥観察も楽しめます。冬の澄んだ空気の中、湖畔で自然を満喫してみたいはいかがでしょうか。(執筆:遠藤)

## 「箱根駅伝とお地蔵様」※その後のお話 箱根ビジターセンター

ちょうど8年前、このお便りでお伝した「箱根駅伝とお地蔵さま」のその後の話です。

元箱根石仏群のガイド施設「石仏群と歴史館」は、2023年9月に老朽化のため閉館、取り壊されました。サンショウバラやサワフタギ、ズミなどの木の花や、足元にアギスミレやヒメヘビイチゴが見られる精進池は、西側遊歩道が通行止めになって久しく、今ではハコネダケが生い茂る藪になっています。「六道地蔵」の石垣の上から若いツキノワグマが顔を覗かせていたのは2021年春のことです。

厳しい出場権争いがある箱根駅伝は、出場校が入れ替わりながら今回で101回を迎えました。

移りゆく時代の中、700年もの間、険しい箱根路を越える人々を暖かい眼差しで見守ってきた「六道地蔵」をはじめとする沢山の石仏・石塔群に感謝の気持ちを込めてお願いしたいと思います。

「新しい年が穏やかな良い年になりますように」 (執筆:石原)

※アーカイブはこちらからから

